



	<p>1-5) 口腔保健と生活習慣改善のための普及啓発活動を行い、媒体を活用する(リーフレット、ポスター等広報媒体の作成)</p>	<p>P A</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科スタッフ用マニュアル、一般用(中高等学校・成人・妊産婦用)マニュアルを作成した。マニュアルは中高校生の授業の際、又妊産婦、成人健診の際に使用する。</li> <li>・Perio and NCD Manual DVD とラジオ体操のCDを作成した。同様に中高等学校、成人、妊産婦健診の際に活用する。</li> <li>・ラジオ体操のCDは、小学校のマリマリプログラムでも使用する。</li> <li>・歯科室では歯周病予防処置の際に媒体を使用して口腔保健と生活習慣病の話をしている。</li> <li>・毎月曜日、火曜日、水曜日に糖尿病外来待合室にて媒体を活用して歯科講話を実施している。糖尿病外来にはマニュアル、作成したDVDを配布活用する。</li> <li>・マリマリプログラム普及啓発の為、バナー(垂れ幕)を作成した。</li> </ul>
	<p>1-6) 歯科スタッフは歯周病の治療を取り入れた処置を行う</p>	<p>P A</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科スタッフは、歯周病の予防処置を取り入れた処置を行っている。</li> </ul>
	<p>1-7) 歯周病治療とスタッフ教育のため症例集を作成する</p>	<p>P A</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルおよびPerio and NCD ManualのDVDの中に症例集を作成した。</li> </ul>
	<p>1-8) 従来のマリマリプログラム(学校歯科保健活動)に生活習慣改善の取り組みを導入する</p>	<p>P A</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本島、エウア島、パバウ諸島、ハーパイ諸島では、ラジオ体操を継続的に行っている。手洗い指導を月1回指導している。</li> </ul>
	<p>1-9) 不参加者、中止者から意見を聞き取る</p>	<p>P A P A</p>		
<p>Output2 生活習慣改善の早期対策として中高生が</p>	<p>2-1) 中高生に意識変化・行動変化を把握するため、活動前・中・後に質問紙調査を行う</p>	<p>P A</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高校にて、質問調査を実施した。</li> </ul>





	5-4) ヘルスフェスティバルを開催する	P A											<ul style="list-style-type: none"> <li>・本島Fish Marketでフェスティバルを1回開催した。</li> <li>・Pacific NCD Summitに参加</li> </ul>
	5-5)不参加者、中止者から意見を聞き取る	P A P A											
<b>広報計画 (現地・国内)及び国内市民へのアプローチ</b>	1. 一般向け報告会開催(グローバルフェスタ等)	P A											<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本口腔衛生学会(国際学会と同時開催)にて4演題を発表(1題はトンガ歯科医師による)した。</li> </ul>
	2. 協議会・学会発表	P A											<ul style="list-style-type: none"> <li>・トンガ歯科医師、歯科セラピストは歯科保健医療国際協力協議会学術集会にて、トンガでの歯科活動を紹介した。</li> </ul>
	3. 機関紙の発行	P A											<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本小児歯科学会(国際学会と同時開催)にてトンガ歯科セラピストはシンポジストとして現在のマリマリプログラムを紹介した。</li> </ul>
	4. ホームページ	P A											<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科保健医療国際協力協議会学術大会にて2演題を発表した。</li> <li>・ニュースレター、ホームページの更新した。</li> </ul>

活動計画は (P:Planned)

これまで実施した活動のうち、今期分 、過去の実施分 (A:Actual)

P  
D  
M  
よ  
り  
転  
記

業務完了報告書 (最終年次)				
1. 事業名 (対象国名)	トンガ王国における口腔保健のアプローチから生活習慣を改善するプロジェクト			
2. 事業実施団体名	南太平洋医療隊			
3. 事業実施期間	平成25年8月～平成28年7月			
プロジェクト要約 (Project Summary)	指標 (Indicators)	基準値 (Baseline Values for Indicators)	目標値 (Target Values for Indicators)	達成状況 (Progress)
上位目標 (Overall Goal) 生活習慣病 (口腔疾患を含む) が予防される				
プロジェクト目標 (Project Purpose) ・口腔保健のアプローチからトンガ人の生活習慣が改善する	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての歯科・医科スタッフは口腔保健と生活習慣病の関連を理解し 50%のスタッフが指導を行う。</li> </ul>	・ 0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>50%のスタッフが指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔保健と生活習慣病の関連を理解し指導する歯科スタッフは 100%である。医科スタッフは 92%が理解しており、88%が指導を行っている (質問紙調査より)。歯科では歯周病予防処置を行う診療体制は整っており、初診時に問診・検査をし、口腔以外の生活習慣病の疑いがある場合は他科の受診を促し連携をとっている。本島で研修を重ね離島に赴任した歯科スタッフは、歯周病予防処置や指導を行なっている。また医科スタッフは歯科を受診するよう促している。スタッフ用マニュアル (A版) と Perio and NCDs Manual (DVD) を作成した。これを利用し、スタッフは指導を持続的に行える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯周病と生活習慣病の関係を知り、予防処置を受ける者が 50%増える。</li> </ul>	・ 0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防処置を受ける者が 50%増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問紙調査により歯科スタッフは 50%の糖尿病患者が歯科受診していると答えた。歯科スタッフは糖尿病センターの待合室にて毎週月曜日、火曜日、水曜日に歯周病と糖尿病の関係の講話を行っている。糖尿病センターでは、糖尿病患者に歯科受診をするように指導している。</li> <li>妊産婦健診、成人健康教室、ヘルスセンター、地域ホール、学校、ヘルスフェスティバルでの健診、保健指導時に予防処置が必要とされた者には、その場で予約を与える体制が出来ている。予約者はいずれも総受診者の過半数 (50%以上) であり、順次来院、予防処置を受けている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の改善に取り組むトンガ人が</li> </ul>	・ 0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の改善に取り組むトンガ人が 10%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設や村地域に出向く際には、NCDs ナースは NCDs 予防について講話し、ヘルスプロモーション担当者は禁煙を呼びかけ、喫煙による健康被害を講話し</li> </ul>

	<p>10%増える(たばこ嗜好品の摂取量、塩分の摂取量の減少、肥満の改善、野菜の摂取量等)</p> <p>・生活習慣病予防のため運動を行う対象トンガ人が10%増える。</p>	<p>・0%</p>	<p>増える。</p> <p>・運動を行う対象トンガ人が10%増える。</p>	<p>ている。歯科スタッフは口腔保健講話で歯科疾患予防と生活習慣改善について指導している。</p> <p>質問紙から生活習慣を改善する努力をする姿勢が読み取れる。歯周病予防の為に口腔ケアは重要とも考えている。しかし禁煙、食習慣の改善や適度の運動を改善例にあげる者は少ない。また歯周病が生活習慣病の一角にあることや、歯周病予防が糖尿病の改善につながることを理解は得られていない。成人に生活習慣を改善させるには、なお一層の取り組みが必要と思われる。小学生、中高生への教育が将来のNCDs減少に効果的であり、重要と考えられる。</p> <p>・小学校のマリマリプログラムにラジオ体操を加えた。現在は全土の小学校で歯科スタッフの指導で行っている(約15,000名;全人口の15%)。中高生にも機会ごとに指導した。教師も一緒に体操を行っている。一般用マニュアル(B版)、ラジオ体操のCDを作成し配布した。歯科室に姿見、体重計、身長計が設置された事で歯科スタッフや患者は自身の体型に関心を持ち利用している。意識改革につながっている。バイオラ病院、歯科スタッフは毎朝、就業開始前にラジオ体操を行い、若手を中心にスポーツジムに通うグループができ、運動する習慣が根付いた。毎日午後テレビで放映されているラジオ体操を視聴しているという声を耳にするようになった。スポーツ大会があると積極的に参加し、広場で各種エクササイズや、朝夕にウォーキングする者を以前より多く見かけるようになった。</p>
<p><b>アウトプット</b> (Output)</p> <p>1 活動従事者(歯科・医科スタッフ)は口腔保健と生活習慣病の関係を理解し、生活習慣改善の指導ができるようになる(担い手の育成・能力の向上と連携システムの確立)</p>	<p>1-1) 歯科スタッフに生活習慣病の視点が加わる。</p> <p>1-1-1) すべての歯科スタッフの臨床に生活習慣病の視点が加わり、実践されている</p>	<p>・0</p> <p>・0</p>	<p>・すべての歯科スタッフ</p>	<p>・活動従事者は口腔保健と生活習慣病の関係を理解し、生活習慣改善の指導ができるようになった。医科スタッフの91.6%、すべての歯科スタッフに生活習慣病改善の視点が加わっている。バイオラ歯科室では歯周病予防処置を行う為にNo3, 4(2/10)の診療ユニットを専用とし、患者を診ている。歯科セラピスト、若手歯科医師は、全員がNo.3,4で従事する様にローテーション化されているために歯科スタッフ全員が予防処置を理解し実践する。</p> <p>・すべての歯科スタッフは診療や検診に際し、生活習慣病の視点を加味し、実践している。バイオラ病院、ババウ諸島、ハーパイ諸島及びエウア島の歯科室では、継続的に身長、体重、血圧測定を行い、歯周病予防処置の問診、検査、処置をしており、生活習慣病の疑いがある者には他科を受診しているか確認し、していない場合は受診を促している。</p> <p>・歯科スタッフに対し、動機づけを目的に、肥満因子、RDテスト、ペリオス</p>

1-1-2) 歯周病治療で抜歯ケースが半減する。	・ 0	・ 半減	<p>クリーンの検査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存出来る歯は保存処置や歯周病予防処置を患者に勧め、むやみに抜歯をしないようにしている。歯科部長からも通達をしている。歯を抜かず動揺した歯を接着剤で固定する技術も定着した。質問紙調査により 90.6%の歯科スタッフは歯周病治療で抜歯ケースが半減していると答えた。</li> </ul>
1-1-3) 予防処置を受ける為、受診した患者が 10%増加する。	・ 0	・ 10%増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問紙調査により 84.3%の歯科スタッフは、予防処置を受ける為に受診した患者は 10%以上増加していると答えた。定期健診で来院する患者も増加した。各検診事業で、予防処置が必要とされた者には、その場で予約を与える体制が出来ている。予約者はいずれも総受診者の過半数 (50%以上) であり、順次来院、予防処置を受けている。</li> </ul>
1-2) 研修を受けた医科スタッフはトンガ人の生活習慣改善のため歯科と連携する	・ 0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本島、ハーパイ諸島、エウア島、ババウ諸島では、医科スタッフ、特に NCDs ナース、ヘルスプロモーション担当者、ファミリーヘルス (トンガ NGO) は歯科スタッフと共に成人健康教室、学校健診、ヘルスセンター、地域ホール、フェスティバルで共に健診、保健指導し、生活習慣改善の啓発を行っている。</li> <li>・ スタッフにワークショップを延べ 4 回実施 (パイオラ病院; 2013 年 8 月 29, 30 日、2014 年 2 月 10, 11 日、2015 年 8 月; ババウ諸島グー病院、パイオラ病院オーラルヘルスウィーク; 2015 年 9 月 4 日) した。</li> </ul>
1-2-1) 糖尿病患者の 50%が歯科受診する。	・ 0%	・ 50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問紙調査により歯科スタッフは 50%の糖尿病患者が歯科受診していると答えた。</li> <li>・ 糖尿病センターの調査ではトンガタブ本島には約 5,000 名の患者がいる。</li> </ul>
1-2-2) 現場のナースの働きかけで歯科受診する者が 10%増える	・ 0%	・ 10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 88%の医科スタッフは糖尿病患者に歯科受診をするように勧告している。トンガタブ本島、ハーパイ諸島、エウア島、ババウ諸島の NCDs ナースは糖尿病患者に歯科受診をするように必ず勧告している。定期的に定期健診で来院する患者も増加した。</li> </ul>
1-2-3) 歯科・医科スタッフと共同で作成された広報媒体数	・ 0	・ 広報媒体数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科室で指導の為使用するように媒体を五種類作成した (1. 歯周病とは? 2. どうすれば歯と歯肉の健康を守れるか? 3a. 歯周病予防と処置の流れ 3b. 糖尿病と口腔健康 4. 清涼飲料水の蔗糖含有量と PH について 5. Health Care Note) である。</li> <li>・ 歯科スタッフが使用するマニュアルとして媒体を十種類作成した (1. For pregnant women 2. Juvenile gingivitis 3. Gingivitis for High School 4. Oral Health Guide 5. How to Brush teeth 6. Periodontal Disease and NCD 7. Periodontal Disease 8. How to probing 9. How to SC 10. How</li> </ul>



<p>2 生活習慣改善の早期対策として中高生対象の口腔保健啓発活動が確立されている</p>	<p>1-3) マリマリプログラムに生活習慣改善の項目が加わる</p> <p>2-1) 身長、体重測定を含めた口腔検診が年1回行われるようになる</p>	<p>・0</p> <p>・0</p>	<p>・生活習慣改善の項目が加わる</p> <p>・</p>	<p>to SC root planing)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンガ人が肥満を予防する為、BMI 体重表を二つ、又誰でも出来る軽度の運動習慣を身につけるためウォーキングマップを二つ、計四つの媒体を作成した。トンガ人の体型に合わせてBMI 体重表を2種類作成した(1. Healthy Weight of Tongan People 2. Healthy Weight Defined by World Health Organization)。トンガ人がトンガタプ本島でのウォーキング時の消費カロリー計算が出来るウォーキングマップを2種類作成した (1. Tongatapu Walking Map 2. Nuku' alofa Walking Map)。</li> <li>・スタッフ用マニュアル (A) と一般用 (B) (中高等学校・成人・妊産婦用) マニュアルを作成した。一般用マニュアルは中高校生の授業の際、又妊産婦、成人健診の際に使用する。</li> <li>・Perio and NCD Manual のDVD とラジオ体操のCD を作成した。同様に中高等学校、成人、妊産婦健診の際に活用する。</li> <li>・病院、学校及び街中の目立つ地域にバナー (垂れ幕) を設置した。(1. トンガタプ本島; VAIOLA 病院、2. エウア島; NIU' EIKI 病院、3. ハーパイ諸島; NIU' UI 病院、4. ババウ諸島; NGU 病院、5. ヌクアロファ小学校、6. アテレ小学校、7. HIHIHO 地域、8. HAHAKE 地域)</li> <li>・全土の小学校のマリマリプログラムにラジオ体操と手洗い指導が加わり、実施されている。体操はトンガ流にアレンジし、行っているスタッフもいる。清潔を保つことが、病気の予防になり健康に繋がることを指導している。ラジオ体操は毎回、手洗い指導は月1回実施している。教師も協力し体操も一緒にしている。</li> <li>・ラジオ体操のCD は、小学校のマリマリプログラムでも使用する。</li> <li>・幼稚園のマリマリプログラム巡回は、医科スタッフと協力し、ヘルスセンターや地域ホールに園児のみならず保護者、地域住民を集め、歯科・生活習慣病予防健診と位置づけ実施するようになった。</li> <li>・プロジェクトの対象高等学校は4校であったが、トンガ側の要望で対象校は大きく増加し23校で実施した。1、3、5年生を対象に歯科スタッフ、NCD ナース、ヘルスプロモーション担当者 (トンガ人 NGO 団体ファミリーヘルスも時々参加) も参加し身長、体重、BMI 測定を含む歯科健診と媒体を使用して口腔疾患と生活習慣病について講話し軽度 (ハードルの低い目標) の運動習慣を身につけるためラジオ体操を指導し合わせて質問調査を実施した。</li> <li>・トンガカレッジ、クイーンサロテスクールでは年1回口腔健診が行われている。</li> <li>・トンガハイスクール、クイーンサロテスクールではラジオ体操を定期的に</li> </ul>
---	--	---------------------	--------------------------------	---

	<p>2-2) 口腔保健と生活習慣改善について理解し、指導をする教師が 80% になる (4-4)</p>	<p>- 0</p>	<p>- 80%</p>	<p>取り入れるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンガカレッジでは毎月 1 回全生徒が体重測定をし、肥満防止に努めている。</li> <li>トンガタブ本島(7校): 1. クイーンサロテスクール 2. トンガハイスクール 3. ツポウカレッジ 4. トンガカレッジ 5. リアホナミドルスクール 6. タイルルカレッジ、7. アピフォオウハイスクール</li> <li>・エウア島 (4校): 1. ハンゴアグリカルチャーカレッジ 2. エウアハイスクール 3. ホファンガハウカレッジ 4. エウアレイターデイセインツミドルスクール。</li> <li>・ハーパイ諸島 (5校): 1. オファモオニハイスクール 2. タイルルカレッジ 3. タウファアハウピロレブカレッジ 4. ハーパイハイスクール 5. ソセフォハイスクール</li> <li>・ババウ諸島(7校): 1. ババウハイスクール 2. チャネルカレッジ 3. サイネハハイスクール 4. マイレフィヒシウイリクタブカレッジ 5. ミドルスクールファンガトンゴ 6. ババウサイドスクール 7. タイルルカレッジ、計 23 校にて実施した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の健診時、教師も同様の健診を受け、自身の健康に関心を持ち、それを生徒へと波及させている。作成したマニュアルを活用し指導に活用していく。</li> <li>・教師への質問紙調査から 85%の教師が指導をしていくと答えた。</li> </ul>
	<p>2-3) 食習慣の改善や簡易な運動習慣を築き生活習慣病へのリスクを減らす中高生が 80%増加する</p>	<p>- 0%</p>	<p>- 80%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2007 年施行の学校食品法により、小学校では生活習慣病を意識した食習慣改善学習が積極的に行われている。保健省・教育省・トンガヘルスによる「毎日 5 種類以上の野菜や果物を食べよう」という運動も実施されている</li> <li>・中高校生に対し健診、保健指導の前にワークショップを開催した。中高等学校において食習慣の改善する為、NCDs ナースは NCDs 予防について講話し、ヘルスプロモーション担当者はタバコ嗜好品について禁煙と喫煙による健康被害の講話をしている。歯科スタッフは口腔保健、歯周病と生活習慣病の関連について講話している。</li> <li>・簡易な運動習慣を身に付けるための 1 案としてラジオ体操を指導した。ラジオ体操は中高等学校では定着していないが小学校のマリマリプログラムでは定着しているので近い将来中高等学校でも定着すると考えられる。</li> <li>(中高生への質問紙調査の結果)は、1. より健康的な生活習慣を望むと答えた生徒は 91.8%に達し、2. 歩くことが重要だと考える生徒は 87.9%であった。3. 一週間に 1 回以上運動をしている生徒は 46.2%であった。4. 歯周病、歯肉炎を予防するために気を付けることについて何が大事か?の質問に対し</li> </ul>

<p>3 妊産婦の生活習慣改善を促すための口腔保健啓発活動が確立されている</p>	<p>3-1) 妊産婦教室が年3回開催される</p> <p>3-2) 現場ナースは母子の健康維持のため妊産婦に安定期間中の歯科受診を勧め、妊産婦を指導するチェック項目に歯科の項目(歯を磨くとき出血する、口臭が気になる)が加わる</p> <p>3-3) 妊産婦教室の参加者の内、口腔保健を理解し、母子のため生活習慣の改善に努める妊産婦が80%なる</p>	<p>・0</p> <p>・0</p> <p>・0</p>	<p>・年3回</p> <p>・歯科項目が加わる</p> <p>・80%</p> <p>・開催数、参加者数</p>	<p>①. 食後の歯磨きと回答した生徒は20% ②. 禁煙をあげた生徒は14, 4% ③. 歯科健診を受診するとあげた生徒13, 5%であった。</p> <p>・バイオラ病院では、初めての妊婦健診は毎週火曜日に実施されている。同時に歯科では各回30名程度の妊産婦が歯科講話、個別指導、歯科健診を受けている。妊娠性歯肉炎や母子感染についても講話している。歯科スタッフは、体調の良い時に治療や予防処置を受診するよう勧告している。</p> <p>・プロジェクト期間中、通常の妊産婦健診とは別に妊産婦教室を延べ10回開催(1. 2014年2月7日、8日 2. 8月19日、26日、9月9日 3. 2015年8月18日 4. 9月8日、15日 5. 2016年6月21日、28日)した。</p> <p>・バイオラ病院では個々にカルテを作成しているため情報を共有している。歯科の項目(妊娠性歯肉炎等)も加わっており、どのような治療が必要かを記載し、妊娠安定期間中に歯科受診をするようその場で予約をとる。口腔保健や母子保健などについて指導している</p> <p>・妊産婦健診の参加者に口腔保健の大切さ、生活習慣病との関連について講話し、特に妊娠性歯肉炎や口腔細菌の母子感染についても講話している。生まれてくる子供のためにも口腔疾患の予防に重点をおいて講話した。</p> <p>・質問紙調査により1. 自身と新生児の健康の為に口腔ケアは重要だと理解した妊産婦は88.5%であり、2. 自身と新生児の為に生活習慣改善につとめる妊産婦は90.6%である。</p> <p>・成人健康教室を延べ10回開催し述べ453名が参加した。医科スタッフも参加し血圧測定、身長、体重の測定とBMI、血糖値の測定、歯科健診では通常の歯科検診に加え、う蝕活動性検査、唾液潜血検査を含め実施した。同時に保健指導を行い、ハイリスクの受診者にはバイオラ病院にて医科及び歯科の外来を受診する様に指導した。詳細は以下に記載する。 首相府：2014年8月20日33名、2015年8月28日32名、 財務省：2014年2月12日51名、2015年8月28日26名、9月2日12名、 トンガテレビラジオ局：2014年2月10日34名、2015年8月27日35名、 Westpac銀行：2014年8月21日48名</p>
<p>4 口腔保健と生活習慣の関係を理解し、普及啓発の担い手(教師、政府職員、トンガTV職員)が育成される(保健省スタッフ以外の担い手の育成)</p>	<p>4-1) 成人健康教室の開催数(各々年1回、参加者数</p>	<p>・0</p>	<p>・開催数、参加者数</p>	<p>・成人健康教室を延べ10回開催し述べ453名が参加した。医科スタッフも参加し血圧測定、身長、体重の測定とBMI、血糖値の測定、歯科健診では通常の歯科検診に加え、う蝕活動性検査、唾液潜血検査を含め実施した。同時に保健指導を行い、ハイリスクの受診者にはバイオラ病院にて医科及び歯科の外来を受診する様に指導した。詳細は以下に記載する。 首相府：2014年8月20日33名、2015年8月28日32名、 財務省：2014年2月12日51名、2015年8月28日26名、9月2日12名、 トンガテレビラジオ局：2014年2月10日34名、2015年8月27日35名、 Westpac銀行：2014年8月21日48名</p>

	<p>4-2) 成人健康教室参加者の 50%が生活習慣改善に取り組む担い手になる</p>	<p>・ 0%</p>	<p>・ 50%</p>	<p>海軍：2016年7月8日94名 陸軍：2016年7月88名 教育省；教師は中等高等学校の健診の際に生徒と共に参加した。2014年9月12名、2015年8月、9月18名、2016年7月16名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人健康教室の参加者は継続して生活習慣の改善に取り組んでいる。</li> <li>・ 生活習慣を改善していく姿勢は参加者にはあり生活習慣をなんらかの形で改善する努力している。歯周病予防の為に口腔のケアは重要とも考えている。しかし禁煙、食習慣の改善や適度の運動をあげる者は少ない。また歯周病が生活習慣病の一つであり、歯周病を改善すればそれが糖尿病の改善につながるとの考えについては尚いっそうの理解が必要と考えられる。成人から生活習慣を改善することにはなお一層の取り組みが必要と思われる。逆に中等生からの教育の必要性はさらに重要と考えられる。</li> </ul> <p>質問紙調査の結果(2015年8月、9月実施；1. TBC, 2. Prime minister office, と Public service commission, Treasury(3箇所)の結果を下記に記載する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔の健康とライフスタイルの重要性があなたの健康にとり重要だと理解できましたか？との問いに対して 92.3%理解出来たと答えた。</li> <li>2. より良い健康の為により良いライフスタイルを会得しようと考えますか？との問いに対して 94.3%がはいと答えた。</li> <li>3. 歯周病(歯肉炎)の意味が分かりましたか？との問いに 23.8%の人がはいと答え、 25.7%の人がいいえと答えた。</li> <li>4. あなたは歯周病が生活習慣病だと思いますか？の問いに 34.3%の人がはいと答え、 26.7%の人がいいえと答えた。</li> <li>5. 歯周病予防の為にあなたは、何をしますか？の問いに①. 食後の歯磨き 74.3%、②. 洗口 40%、③. 定期的な歯科健診 38%、④. 禁煙 36.2%、⑤. 専門家による歯のクリーニング 25.7%、⑥. 甘味制限 34.3%、⑦. 禁酒 16.2%、⑧. 規則正しい食習慣 16.2%、⑨. 適度の運動 15.2であった。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV トンガでは月曜から金曜の 16:00~16:30 にラジオ体操番組を引き続き放送している。</li> <li>・ 歯科医師はラジオ、TV 放送で、繰り返し講話の中で予防の重要性と生活習慣病予防のための歯科受診を勧告している。(毎週1回)</li> </ul> <p>・ 学生の健診時、教師も同様の健診を受け、自身の健康に関心を持ち、それを生徒へと波及させている。作成したマニュアルを活用し指導に活用していく。</p>
	<p>4-3) トンガラジオ、TVは口腔保健・生活習慣病予防の報道番組を定期的に放送する</p>	<p>・ 0</p>	<p>・ 放送枠</p>	<p>・ TV トンガでは月曜から金曜の 16:00~16:30 にラジオ体操番組を引き続き放送している。</p> <p>・ 歯科医師はラジオ、TV 放送で、繰り返し講話の中で予防の重要性と生活習慣病予防のための歯科受診を勧告している。(毎週1回)</p>
	<p>4-4) 口腔保健と生活習慣改善について理解し、指導をする</p>	<p>・ 0</p>	<p>・ 80%</p>	<p>・ 学生の健診時、教師も同様の健診を受け、自身の健康に関心を持ち、それを生徒へと波及させている。作成したマニュアルを活用し指導に活用していく。</p>

<p>5 口腔保健と生活習慣の改善を図る為の普及啓発活動がトンガ国内で定着している</p>	<p>教師が 80%になる (2-2)</p> <p>4-5) 口腔保健啓発活動を政府職員は国レベルで行えるように働きかけるようになる</p> <p>5-1) ヘルスフェスティバルの開催数 (各年 2 回、参加者数</p>	<p>・ 0</p> <p>・ 0</p>	<p>・</p> <p>・ 年 2 回、参加者数</p>	<p>・ 教師への質問紙調査から 85%の教師が指導をしていくと答えた。</p> <p>・ 保健省、教育省、財務省、首相府の職員は、口腔保健と生活習慣の関係を理解し支援してくれている。保健省は NCDs 予防を促す看板やポスターを国中に設置している。教育省はマリマリチームが巡回した時、教師が事前に出来る準備をしてマリマリチームを待つなどの指導をしている。財務省はマリマリチームが離島で活動する際に出張費を支出してくれ、銀行などの企業は、オーラルヘルスウィークなどの活動支援をしてくれた。</p> <p>・ ヘルスウィークや NCD サミット等に王様を初めとするロイヤルファミリーはご臨席され、国民に向け健康への助言をされた。</p> <p>・ 国王陛下とその家族は南太平洋医療隊隊員をお住まいに招き、マリマリプログラムについて説明を受けられた。</p> <p>・ 2014 年から毎年 8 月の末から 1 週間、保健省主催でオーラルヘルスウィークを開催する事にした。オーラルヘルスウィークは口腔領域だけでなく生活習慣の改善を考慮するプログラムを実施している。国王陛下が臨席するセントラル教会での開会宣言を幕開けに、様々なイベントを計画、実施した。</p> <p>保健省のみならず、教育省大臣も招いたワークショップの開催、市場、村、でのヘルスフェスティバルの開催、小学校でのポエム大会、幼稚園での塗り絵コンクール、中高校生、教師対象に対し、歯科室を解放し、業務の紹介をすると共に開催したワークショップ。最終日にウォーキングラリーを開催し 2014 年 9 月は 37 名、2015 年 9 月には 24 名が参加した。</p> <p>・ 11/14 世界糖尿病予防デーに糖尿病センターのスタッフが開催した企画に歯科スタッフは歯科検診スペースを設け、14 名が参加し健診や指導を実施した。</p> <p>・ トンガタブでのアグリカルチャーショー開催時に歯科のブースを出店した：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2013 年 8 月 24 日、25 日</li> <li>2. 2015 年 8 月 21 日</li> <li>3. ババウ諸島でも 2014 年 8 月のアグリカルチャーショーに出店した。</li> </ol> <p>・ Fish Market にてヘルスフェスティバルを 5 回開催し述べ 408 名参加した：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2014 年 2 月 8 日 112 名</li> <li>2. 2014 年 8 月 16 日 115 名</li> <li>3. 2015 年 9 月 12 日 83 名</li> <li>4. 2015 年 9 月 19 日 57 名</li> <li>5. 2016 年 7 月 2 日 41 名</li> </ol>
---	---	-----------------------	------------------------------	---

	<p>5-2)国内のイベント等において実施した普及啓発活動の回数及び参加者数</p>	<p>・1回（オーラルフェスティバル）</p>	<p>・回数、参加者数</p>	<p>・村部に出向き住民を対象に成人健診・保健指導を17回開催し699名に実施した：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Utulau 村；2013年8月8日、Muaヘルスセンター；2013年8月15日20名、</li> <li>2. Muaヘルスセンター；2014年2月7日42名、2015年8月4日33名</li> <li>3. アテレ地区（歯科セラピストエラシー宅近郊）；2015年8月13日、14日、16日計94名</li> <li>4. Kolovai ホール；2014年9月2日62名、2015年9月1日56名</li> <li>5. Hahake 村 Vakalooa ホール；2014年9月5日90名</li> <li>5. Fuamotuヘルスセンター；2015年9月10日48名</li> <li>6. Kolongaヘルスセンター；2015年9月11日60名</li> <li>7. ババウ諸島 Tefisi ヘルスセンター；2015年11月3日27名</li> <li>8. ババウ諸島 Hunga ヘルスセンター；2015年11月4日22名</li> <li>9. エウア島糖尿病高血圧センター；2016年2月1日27名</li> <li>10. エウア島 Ohonua ホール；2016年2月2日44名</li> <li>11. エウア島 Mata 'aho ホール；2016年2月3日74名</li> </ol> <p>・ホームビジット（在宅患者）で健診、保健指導を4回48名に実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トングタブ本島にて2015年8月14日障がいのある方合計5名に健診、保健指導をおこなった。</li> <li>2. ババウ諸島にて2015年10月30日～11月5日の間に障がいのある方を対象に合計7名に健診、保健指導を行った。</li> <li>3. エウア島にて2016年1月30日～2月4日の間に障がいのある方を対象に合計28名に健診、保健指導を行った。</li> <li>3. ババウ諸島にて2016年2月9日～22日の間に障がいのある方を対象に合計8名に健診、保健指導を行った。</li> </ol> <p>・障がい者施設にて健診、保健指導を行った。</p> <p>OTA 9回 開催し68名が参加した。  Alonga 1回 開催し14名参加した。  マンガツリー1回 開催し8名とその家族が参加した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通所施設 OTA:2013年8月15日11名20日2名21日14名、2014年8月14日11名、2015年8月12日、13日、17日、18日、19日7名の教師を含む33名が参加した。2015年10月21日、22日26名に対して歯磨き指導とフッ化物塗布、ラジオ体操を指導した。毎週月曜日に運動の時間におこなうとの事であった。</li> <li>2. 入所施設 Alonga：2014年8月14日14名</li> </ol>
--	--	-------------------------	-----------------	---

	5-3) 広報媒体・自己管理のためのツール、の作成数			<p>3. バイオラ病院歯科室見学ツアーを2015年8月18日、19日に実施した。二人がモデルとなり歯科健診、検査、保健指導を実施し、歯科診療への理解を深め恐怖心を和らげた。</p> <p>4. 通所施設マンゴツリー：2016年6月30日8名に対し実施した。歯科講話、歯磨き指導、フッ化物歯面塗布、サフォライド塗布を実施した。トンガ歯科スタッフは年2回フッ化物塗布をおこなっているが、重度の障がい児であるため不安気であった。歯科スタッフに特に注意すべき点と歯科健診の仕方などの実技指導を併せて行った。</p> <p>・1-2-3)を参照のこと（記述は同じです）</p>
JICA コメント（在外事務所）			（国内機関）	

## 事業評価報告書

## ①【妥当性】計画設計は妥当性があったか。(Are these the right things to do?) ※DAC 評価 5 項目の「妥当性」に相当

- ・トンガ王国は世界有数の肥満国であり、糖尿病、心循環器疾患などの NCDs 罹患が死亡原因の上位を占めている。保健省は Aus. AID や WHO などの支援を受け解決策を模索しているが、なかなか成果があがらない状況である。ハーバード大学医学部 Joslin Diabetes Center での研究で、アメリカ在住のアジア・太平洋諸島の人々は遺伝的素因と環境の変化により、糖尿病を発症するリスクが高いと述べている。このことはトンガ人にも当てはまる。生活習慣の改善、特に食習慣や運動習慣を改善することは簡易に思えて難しいのが現実である。小学生、乳幼児に対し実施してきたマリマリプログラムをより発展、拡大した本活動はトンガの人々及び歯科スタッフのニーズに合致しており、プログラムの強化にもなった。
- ・トンガ王国保健省は①プライマリーヘルスケアの実践と感染症および伝染病抑制、②生活習慣病の予防と治療を保健分野の中心的課題としている。
- ・2015 年までの NCDs (非感染性疾患) 対策、食糧政策のトンガ政府戦略、2016 年以降の同新戦略策定中の中で、口腔衛生と一般内科の連携などトータルな健康増進、適度の運動、健康的な食事・栄養(油分の多い輸入の既製品などではなく)の重要性が謳われている。
- ・中高生、成人検診、保健講話をトンガ全域(ニウア諸島を除く)で実施したが、潜在していた問題点を対象者に明確に提示し、早期の受診勧告やアドバイスで、歯科予防、NCDs 予防を充実させ、かつ生活習慣改善を図る上での後押しとなった。
- ・口腔疾患は生活習慣病の一つである。特に歯周病と糖尿病は相互関係にある。糖尿病の悪化は歯周病の悪化に繋がり、また歯周病を改善すると糖尿病患者の血糖値の改善がみられる。これを踏まえ歯科スタッフは歯周病予防処置を実施し、医科との連携でより良い結果を生んだ。
- ・トンガ王国歯科室ではプロジェクト開始前、歯周病処置の多くは抜歯であった。歯科部長は歯科スタッフに、安易に抜歯をせず、



口腔機能の維持を心がけるよう指導するようになった。歯周病予防処置の技術移転により、歯の保存技術がスタッフに浸透し、結果、患者は噛むための機能を失うことなく、日常生活を送ることができる。噛むことで脳神経系への刺激がなされ、食欲抑制にも働き、生活習慣（病）の改善に繋がっている。

- ・ 歯科セラピストは糖尿病センターで、月、火、水曜日の朝 15 分程度、患者や保護者に糖尿病改善のため、歯科講話を行っている。
- ・ トンガ王国では NCDs の担い手育成のため看護師の養成が行われているが、歯科医師も教師として、NCDs と歯科疾患の関わり、予防法、等を指導し、歯科、医科連携の重要性を説いている。今プロジェクトで作成した媒体を活用し口腔保健教育がなされている。
- ・ 2016 年のトンガ王国主催の Pacific NCD Summit に、歯科スタッフと作成したマニュアル、DVD を提供したが、他の太平洋諸国関係者に好印象で受け入れられた。
- ・ 小学生を対象とした従来のマリマリプログラムに、手洗い指導とラジオ体操を組み込んだ。簡易な運動は学童のみならず、教師にも受け入れられており、手洗いは感染症予防に繋がる習慣形成である。若年層から、清潔を身につけ、簡易な全身運動を習慣化させることは、将来の生活習慣病の抑制に繋がる。
- ・ 中高校生の時期になると、う蝕だけでなく思春期性の歯肉炎が発症し易い。思春期性歯肉炎は成人期には歯周病となり病態が悪化する。この時期に口腔保健啓発活動・生活習慣病予防の重要性を教育することは、将来の生活習慣病を予防するための一策である。
- ・ 成人教室、地域ホールでの講話、健診時、有病者やリスク者に対し受診を促した。同時に実施した成人への質問紙調査の回答から歯周病予防の為に口腔ケアは重要と考えていたが、歯周病と糖尿病の相互関係についての理解は足りない事が判った。また禁煙、食習慣の改善や適度の運動を生活習慣病改善例にあげる者も少なかった。この事を鑑みると小学生、中高校生期に健康教育がなされることが重要であり、活動の趣旨と合致している事が理解できる。
- ・ 妊産婦は女性ホルモンの変化により妊娠性歯肉炎などを発症する場合がある。生まれてくる子供の健康について、また自身のう蝕、歯周病予防の為に健診、健康教育は重要である。全妊婦に対し健診は毎週火曜日にバイオラ病院にて行われている。そのためヘルスセンターでの実施を中止した。従来の妊婦健診に歯科検診を加え、母子ともに健康であるために、歯周病と糖尿病の関係、生活習慣（病）の改善を指導した。妊産婦教室も開催したが、個別指導を重視した。村地域ホールやヘルスセンターでは幼児を含む保護者に健診、保健指導を実施し、バイオラに行かない妊産婦にもアドバイスを与えた。

- ・2014年2月にはハーパイ諸島がサイクロンで壊滅的な被害を受け、活動が困難な状況であったが、急遽資機材を持参し、通常の体制を整えた。また2015年第4四半期は、サイクロンの接近によりハーパイ諸島の訪問を中止せざるをえず、2016年の第2半期に持ち越した。

② **【実績とプロセス】事業は予定通り行われたか。プロセス・マネジメントを含め、やるべきことをやったか (Are we doing what we said we would do?)** ※DAC 評価5項目の「効率性」に加え、プロセス・マネジメントの適切性も検証

- ・歯科、医科スタッフへのワークショップを事業開始時に行ったが、2015年度以後は実施しなかった。歯科スタッフ、医科スタッフ共に事業に対する理解が充分であり、期待した視点で活動を推進したからである。事業開始当初から事業はトンガ人の手で実施された。マリマリチームの予防業務は歯科の中に確固たる位置を築いており、専任ドライバーが1名から2名に増加、診療室では10台の診療台の内2台を歯周病予防処置専用とし、2名の歯科医師に数名のセラピストが交代で従事する等、体制が強化されている。従って、私たちはトンガスタッフの自立を見守り、必要とされた支援をするのみで実施出来た。ワークショップ開催の代わりに実際の技術移転を行う方に重点をおく活動ができた。教師には中高等学校を訪問したときに講話をし、ワークショップも開催したが、もう少し働きかけの機会を多く設定出来れば、理解がさらに深化したと考えられる。足りなかった理解を補充するためにもマニュアルを活用してもらおう。
- ・質問紙調査を事業開始前、中間、活動後に3回、同じ質問で実施予定であったが、実際は、事業の進捗に従って質問紙の内容を変更して理解度の判定をした。そのため前中後の一貫した比較は困難だったが、生活習慣の変化を知る事ができた。
- ・バイオラ病院にて事業開始時は、トンガ歯科では歯周病に関する情報が少なく、痛みに対する処置に終始していたため、患者の理解を得て歯周病予防処置を実施、その後定期健診に移行させるのに苦労した。歯科スタッフの技量が充分でなく、時に患者に苦痛を強いることもあったからである。現在は定期健診の重要性への理解が深まると共に歯科スタッフの予防処置に対するスキルアップが成され、継続的な定期健診を受診するものが増加した。
- ・広報用・臨床用媒体は幅広く作成され、活用されている。歯科室で指導の為、使用する媒体を五種類作成した。トンガ人の肥満を自覚させ予防する為、BMI 早見表を二種、軽度の運動習慣を身につけるためウォーキングマップを二種、計四種の媒体を作成した。

スタッフ用マニュアル（A）と一般用（B）（中高等学校・成人・妊産婦用）マニュアルを作成した。Perio and NCD Manual の DVD とラジオ体操の CD を作成した。マニュアル作成の際、行動変容理論のスモールチェンジの考え方を採用、取り入れた。アドバイスを読みながら、早稲田大学応用健康科学研究室と連携し活動に生かす事例は時間的な余裕が無く、実現できなかった。

- ・小学校のマリマリプログラムにラジオ体操と手洗い指導が加わり、実施されている。ラジオ体操や手洗い指導が加味されたマリマリプログラムの参加者は小学生約 15,000 名で全人口の 15%にあたる。
- ・中高等学校健診は当初 3~4 校で複数回実施する予定であったが、トンガ側の要望で、23 校で実施した。トンガ歯科では中高生の健診が初めてであり、少数精鋭よりも広く多くの学生を対象にし、得られた情報を教育省と共有する事がトンガの事情に合っていると理解できた。ラジオ体操はトンガハイスクール、クイーンサロテスクールでは定期的に取り入れるようになった。トンガカレッジでは毎月 1 回全生徒が体重測定をし、肥満防止に努めている。中高生が自身の適正体重（BMI）を知り、食習慣、運動習慣などの行動変容を起こさせる為の支援強化は必要であり、教師との協働で保健活動を勧める仕組みを構築すべきと考えている。
- ・妊産婦健診は毎週火曜日にバイオラ病院にて行われている。そのためヘルスセンターでの実施を中止した。
- ・TV トンガでは当初、朝、夕 2 回、ラジオ体操を中継していたが、その後、都合により夕方みの放送に変更されているが、慣れ親しんで家でも体操をするトンガ人が増えることを期待している。
- ・障がい者施設の健診、保健指導は別枠として PDM 中には記載しなかった。障がい者へはノーマライゼーションの観点から別に設定すべきか事業開始前、判断に迷った。実際にはデイサービス施設 OTA、マンガツリー、入所施設 ALONGA の健診、保健指導を実施した。歯科室見学ツアーを企画し、障がい者に診療台で、実際に予防処置を受けるなどを体験させ、歯科への恐怖心を弱め、来院を促した。事業の進捗に伴い、通院できない在宅者を訪問、健診や保健指導を実施した。トンガ歯科の活動領域は広がり、スタッフのスキルは向上した。結果、通院が困難な方への歯科医療にも道が開けた。
- ・質問紙調査の中で不参加者の意見を聞くという項目を設定したが、現実的に不参加者にコンタクトする事は難しかった。何故不参加だったのか意見を取り入れ、今後の活動に生かす事への期待をしたが、できずに終了した。

③ 【効果】事業は良い変化をもたらしたか。(Are we making any difference?) ※DAC 評価 5 項目の「有効性」・「インパクト」に相当

- ・ 歯科スタッフの歯科に対する視点、物の見方に変化が生まれた。診察、健診時共に歯科スタッフは生活習慣（病）も診断に加えるようになった。診療室以外の活動の大切さも十分に理解されている。医科スタッフとの連携も良く、診療の場では協力して 患者の問題を解決している。地域や学校で行う健診、保健指導で NCDs ナース、ヘルスプロモーション担当者、ファミリーヘルスなどと共に活動する体制ができた。
- ・ 歯周病の予防処置への理解が深まり抜歯のケースが半減した。その結果、トンガ人は噛むという歯の口腔機能を失うことなく、予防の大切さを知り、日々行動することで生活習慣（病）の改善に繋がっている。
- ・ 歯科スタッフは、歯科室においても身長、体重、血圧測定を行い、歯周病予防処置の問診、検査、処置をしている。生活習慣病の疑いがある者には他科を受診しているか確認し、していない場合は受診を促している。医科スタッフは糖尿病センターの患者に歯科受診をするように勧告している。歯科スタッフは成人健康教室、地域ホール、中高等学校の活動の際、NCDs ナース、ヘルスプロモーション担当者、ファミリーヘルスと協働、健診、保健指導し、生活習慣改善の啓発を強固にしている。
- ・ 広報・媒体は幅広く作成し、活用している。歯科室で指導の為に使用するように媒体を五種類作成した。トンガ人が肥満を予防する為、BMI 体重表を二種、又誰でも出来る軽度の運動習慣を身につけるためウォーキングマップを二種、計四種の媒体を作成した。スタッフ用マニュアル（A）と一般用（B）（中高等学校・成人・妊産婦用）マニュアルを作成した。Perio and NCD Manual の DVD とラジオ体操の CD を作成した。トンガ人に広く理解出来るようにトンガ人スタッフはトンガ語にて記述を加筆した。
- ・ 小学校のマリマリプログラムにラジオ体操と手洗い指導を加えた。運動習慣を身につけることと感染症予防を意識した清潔を小学生に根付かせた。
- ・ プロジェクトの対象高等学校は 4 校であったが、トンガ側の要望で対象校を広げ、23 校で実施した。本島・エウア島・ババウ諸島・ハーパイ諸島の中高校で身長・体重測定を含む健診・歯科講話・保健指導が教師も含め実施した。大規模校には身長計、体重計、ミラーを設置し、肥満防止と生活習慣改善を支援する体制を整えた。
- ・ 本島の妊産婦はバイオラ病院で、毎週火曜日に実施される検診を受ける。歯科にも各回 30 名程度の妊産婦が訪れ、歯科講話、個別指導、歯科検診を受けている。勧告を受けた妊産婦は体調の良い時に歯の治療や予防処置を受診している。
- ・ 成人健康教室を開催し国の指導的な立場の方が多く受診した。マリマリチームの負担軽減のためドライバーを 1 名増員し、離島で

の活動に対し、出張費用が認められるなど歯科スタッフが働きやすい環境が整備された。国の保健政策にも影響を与え、その声は王室にも届いている。南太平洋医療隊々員は王様とその家族に現行のマリマリプログラムを説明する機会を戴いた。

- ・エウア島、ババウ諸島にて、来院が困難な障がい者に対し、自宅を訪問し歯科検診および口腔ケアを行った。歯科スタッフは可能な改善策を提示し、QOL(quality of life)の向上を提案した。生活習慣病改善への体制は健常者、障がい者いずれにも実施されている。

#### ④ 【持続性】事業によってもたらされた変化はこれからも継続するか (How sustainable are the changes?)

※DAC 評価 5 項目の「自立発展性」に相当

- ・保健省にて、マリマリチームの人員配置、島内学校など歯科指導モニタリングのためのガソリン代など C/P 側で予算措置をしている。
- ・今後も活動を継続させるべく、C/P は保健省経費で 7 月下旬に、ババウ諸島歯科を訪れモニタリング調査を実施した。
- ・保健省、教育省、財務省、首相府の職員は、口腔保健と生活習慣の関係を理解し、支援してくれている。
- ・マリマリチームは院内、院外活動に従事する体制ができており、スキルの向上は、スタッフのやる気を引き出す原動力にもなっている。
- ・マリマリプログラムに活用されている、歯ブラシ、歯みがき剤、石けんは C/P の働きかけで、コルゲート社から毎年寄贈される。コルゲート社がトンガでのマリマリプログラムを評価し、継続を望んでいるからである。手洗いをプログラムに加えたのも、トンガ歯科スタッフの発案であり、経験に裏付けられた誇りと実行力で発展させると考えている。
- ・今後も南太平洋医療隊はトンガでの保健活動を継続して支援していく。

#### ⑤ 市民参加の観点からの実績

- ・活動を通じ、トンガ歯科スタッフは日本の歯科衛生士の能力、質の高さを認めている。医療隊々員は活動を通じ会計処理の重要性、PCM 手法への理解、マネジメント力、資料分析等の能力が一段と向上した。また日本における歯科医療に対する考え方、日常の臨床

に対する姿勢に良い変化を与えた。

- ・日比谷公園でのグローバルフェスタで同団体の展示テントを設け、トンガでの草の根技術協力、その他の活動紹介を行っている。国際保険部に所属する歯学部や歯科衛生士校の学生が参加、医療隊々員と共に広報活動をしている。
- ・トンガで得られた資料は、全て、分析しトンガ歯科にフィードバック、結果を共有している。また結果や知見は、日本口腔衛生学会、日本障害者歯科学会、日本小児歯科学会、アジア予防歯科学会、アジア小児歯科学会、アジア CBR 会議、歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）等で発表し、国内外の人々に活動を知らせている。
- ・定期的にニュースレターを発行し、広報活動を行っている。
- ・ホームページを通じ、活動報告、学会発表の資料等を公開し、他団体の活動の参考にもなるように広報している。

#### ⑥ グッドプラクティス、教訓、提言等

- ・ヘルスセンターや地域のホールでは、NCDs ナースも参加し、地域の幼稚園の健診、保健指導が実施されてきた。当初、対象は母子のみであったが、対象を地域住民にも広げ、健診を行った結果、歯科疾患だけでなく、NCD 早期発見や予防など、潜在していた病態を顕在化させることとなった。これらの活動から、歯科スタッフは生活習慣改善と生活習慣病の克服に取り組める様になった。
- ・歯科、医科が連携して臨んだ活動で、症状を見過ごしがちな歯周病や糖尿病罹患を顕在化できた。被験者の 10~20%に高血圧症、糖尿病予備群が見いだされ、診療や予防法に勧告できた。歯科検診では歯周病改善を目的に、被験者の半数以上に来院勧告をする結果であった。
- ・マンパワーに限界があり、予算も少ないトンガでの保健活動は、縦割りは不経済であり、時間の無駄も生まれる。他業種との連携はこれからも良い結果を生み出すと思われる。
- ・今後、入院患者にも歯科保健サービスを提供できる体制を歯科が築く中心になってほしい。誤嚥性肺炎の予防は、入院患者の QOL を上昇させ、症状の軽減に繋がる。

⑦ 写真（別添）

\* 活動従事者に対して

・ 保健省ワークショップの開催



・ 歯科室の毎朝のラジオ体操



・ 歯科スタッフに技術移転



・ 糖尿病センターでの歯科スタッフの講話



・ 歯科室に姿見、身長計、体重計の設置



・ 小学校のラジオ体操



・ 小学校の手洗い指導



\* 中高生に対して  
・ 中高校でのワークショップ



・ 身長体重測定、



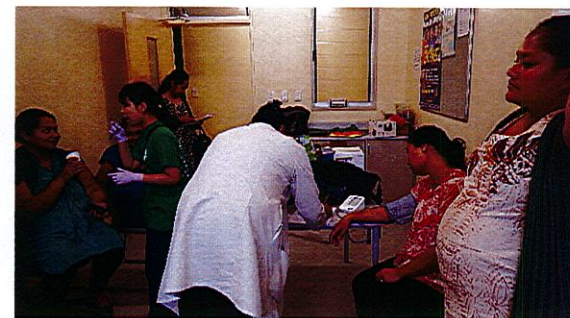
・ 健診



・ 高校でのラジオ体操



\* 妊産婦に対して  
・ 妊婦教室の様子





・母子への指導



・噛むことの大切さ：咀嚼テスト



\* 成人へのアプローチ  
・村での成人健診の様子



・村での身長測定



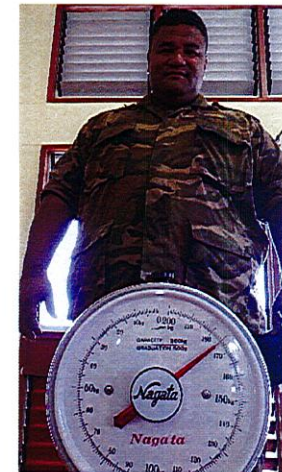
・村でホームビジットで家族健診



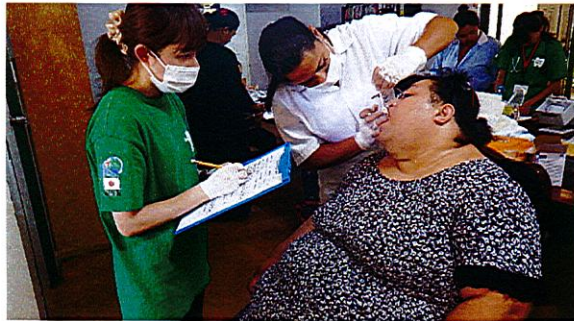
・成人健康教室のワークショップの開催



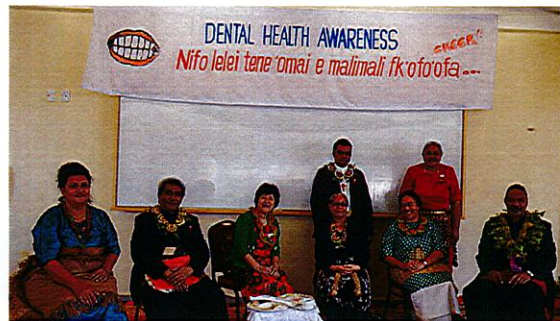
・成人健康教室体重の測定



・ 成人健診教室の健診



\* オーラルヘルスウィーク  
・ オーラルヘルスウィークの開催



・ ポエム大会



・ 小学生による歯科についての劇



・ Fish Market でのヘルスフェスティバル



・ ウォーキングラリー



・ アグリカルチャーショーにブースを出店



\* 障がい者に対して

・ Alonga での健診、保健指導



・ マンゴツリーでの健診、保健指導



・ 障がい者施設 OTA のラジオ体操及びバイオラ病院歯科室見学ツアー



・ 通院出来ない子にホームビジット

